

平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

戦 評 用 紙

試合番号

d

男子・女子 回戦 準々決勝 準決勝 決勝

会場 スカイホール豊田C コート

<u>四日市工業</u>	<u>21</u>	<u>12</u> — <u>8</u>	<u>9</u> — <u>10</u>	<u>18</u>	<u>大体大浪商</u>
チーム名	総得点	7mTC		総得点	チーム名

両チームとも2-4DFをしきお互いのエースをあつく守るシステム。

浪商の13番松下の速攻、17番梶本のカットインプレーで2対0。四日市工業も

スピーディに展開しシュートまで持ち込むが、浪商GKの21番堀田の好セーブにより

なかなか得点できない。お互いにDFの壁を破れず攻めあぐねるが、四日市工業が

エース3番伊藤のパワフルなシュート、11番水越の2連続得点により前半なかば

には追いつき、逆転、そして加点し、12対8で折り返す。4点差はあるものの、流れは

どちらにも来ていない。後半開始早々、四日市工業はテンポよくスピーディに展開し

2連続得点で14対8。浪商はノーマークチャンスを作るもGK1番宮澤の好セーブに

より得点できない。14分過ぎ、浪商は四日市工業エース3番伊藤にマンツーマンDF

をし、攻めあぐねるすきに5連続得点で16対17と点差を縮める。四日市工業は

なかなか得点できずにいたのだが、残り7分、浪商が1人退場をきっかけに得点し、

残り3分20対18。残り1分半にも浪商が1人退場し、エース3番伊藤の得点で

21対18とし、逃げ切った。